

出雲市民フォーラム

島根大学病院の 最新治療 2022 秋

健康維持にお役立て
いただくことを目的とした
フォーラムを開催
いたします。

入場
無料

チームで守る地域医療；安全で安心な最新医療の提供

テーマ
1

島根大学病院で行う 最新治療の 支援体制強化

救急・集中治療
調整管理センター長
高度外傷センター長
教授

渡部 広明



テーマ
2

島根大学病院で 治療する心臓病の メリット

循環器内科
准教授

遠藤 昭博



テーマ
3

島根大学病院だから 提供できる安全な 低侵襲手術の実際

ロボット支援手術
推進センター長
泌尿器科
教授

和田 耕一郎



開催日時 令和4年

9月25日 日 13時30分～15時30分
(受付開始 13:00～)

会場 島根大学 医学部 ゼブラ棟2階
カンファレンスルーム だんだん

入場料 無料 定員 100名

申込方法 申込書に必要事項を記入の上、FAXでお申
ください。メールや電話によるお申込も受け付
けております。

申込先・お問合せ先 島根大学医学部総務課

主催 島根大学医学部附属病院

Access Map



新型コロナウイルス感染症対策について

- 島根県のガイドラインを遵守、感染防止対策を徹底の上開催いたします。
- ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒など感染症対策にご協力ください。
- 発熱、咳などの症状、またその他体調不良の方はご来場をお控えください。

参加申込

Tel 0853-20-2019 Fax 0853-20-2025
✉ mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

申込締切

9月22日(木)

- 土日祝日は休業日のため、お電話の対応はできかねます。休業中のお申込みはFAX・メールにてお願いいたします。
- 当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、事前の申込みにご協力ください。詳細は裏面にてご確認ください。

参加者 氏名	ふりがな	連絡先	電話番号またはメールアドレス

市民フォーラムについて —地域で完結する先進医療体制の構築—

当院は、「地域で完結する先進的医療体制の構築」を目指し、県内唯一の医育機関として、多くの医師を養成するとともに、高度で先進的な治療の開発と提供を心がけて参りました。このフォーラムを通じて、出雲市民の方々に「島根大学病院の最新治療」を知っていただき、皆様の健康維持にお役立てくだされば幸いに存じます。

島根大学医学部附属病院長 **椎名 浩昭**



講演会プログラム

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～ 病院長 挨拶

各25分講演+5分質疑応答

1 13:35～ 「島根大学病院で行う最新治療の支援体制強化」

いざという時の島根大学病院の底力;救急・集中治療調整管理センターの役割



救急・集中治療調整管理センター長
高度外傷センター長
教授 **渡部 広明**

今日の救急医療は様々な救急病態に対応するとともに、各領域の専門性の高い医療提供が求められています。救急関連の各部門は高度に連携して初期対応にあたり、集中治療部やハイケアユニット管理部などの重症管理部門へシームレスにつなげることが重要になります。さらに院内の急変対応を担当するRapid Response System (RRS)との連携も欠かせません。当附属病院では、このように多様化する救急医療と集中治療に対して、安全で安心な救急医療を提供するため、各部門を統括する役割を担う「救急・集中治療調整管理センター」(Emergency and Critical Care Operations Center: ECCOC)を新設しました。今回はECCOCのご紹介と当院の救急医療と集中治療体制についてお話しします。

2 14:05～ 「島根大学病院で治療する心臓病のメリット」

高齢者にも安全な心臓弁膜症治療の最前線;TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)の役割



循環器内科
准教授 **遠藤 昭博**

高齢化社会の到来に伴い、心臓弁膜症の患者さんが増えてきています。弁膜症は「動悸、息切れ、胸痛」などの症状を生じますが、何年もかかって非常にゆっくりと進行するため「年のせい」と思われていることもしばしばありますので、まずは弁膜症に気付くことが重要です。現在、最も問題になっている大動脈弁狭窄症の治療は、従来は開胸して外科的に人工弁に置換するしかありませんでしたが、大きな侵襲を伴うため誰もが受けられるわけではありません。当院では開胸することなく、カテーテルを用いて血管の内側から人工弁を留置することにより体の負担が小さく治療可能なTAVIを開始し、良好な成績をあげておりますので皆様にご紹介したいと思います。

3 14:35～ 「島根大学病院だから提供できる安全な低侵襲手術の実際」

診療科連携による手術支援体制の強化;ロボット手術支援センターの役割



ロボット支援手術推進センター長
泌尿器科
教授 **和田 耕一郎**

島根大学では、現在までに約1,000件のロボット支援手術を実施してきました。対象は胃、直腸、前立腺、腎、膀胱、子宮の悪性腫瘍が中心で、本年9月には肺がんに対する手術も開始しました。ロボット支援手術推進センターは、安全なロボット手術を島根県民の方々に安心して受けて頂けるよう取り組んでいます。また、当院は腎移植を県内で唯一実施できる施設として、腎移植センターを中心に腎提供や腎移植に関する院内環境の整備や啓発活動を行っています。これらロボット手術と腎移植に関する活動をご紹介します!

- 15:05～ 全体質疑応答
- 15:30～ 病院長 閉会挨拶

会場案内

島根大学 医学部
ゼブラ棟 2階
カンファレンスルーム
だんだん

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

お車の方は構内の駐車場をご利用ください。

